



妙國寺スクスクの森で行った里山部会。梅雨で長雨が続けている中、当日の朝はくもり。しかし、正午前後に雨が降り出す予報だったので、午前中で終わるよう、速やかに作業に取り組みました。主な作業は、以前伐倒して長いまま玉切りされているアベマキ、シラカシを薪割用に短く玉切りする作業と、新人会員2名が参加しておりましたので、伐倒の際の安全の確認方法、受け口、追

口、ツルを残す等の伐倒方法の基本、人工林のしくみなどをベテランの砂原さんに教わりながら作業を行いました。

午前中に終わる予定のそれぞれの作業でしたが、始まって間もなく結構な雨が降り出し、1時間足らずで終了してしまいました。それでも玉切り作業は無事終了し、新人教育は講師の砂原さんのわかりやすく丁寧な指導で、大変有意義な研修となりました。参加人数10名



曇り空の下で集合。朝のミーティング



伐倒作業中



先輩に指導を仰ぐ

初参加の新入会員お二人からの感想

■『雨の中、初めて杉の間伐作業に友人(長門さん)と二人で参加させていただきました。ご指導いただきながら、直径が15㍻に満たない少し曲がった杉を、手鋸で受け口、追い口を加工、思った通りの方向に倒れました。なかなか気持ちのいいものです。直接ご指導いただいた砂原さんや応援して下さった皆さんと、ここまで成長しながら伐倒した杉に感謝です。』新田さん

■『選木、受け口、追い口、ツル、安全確認。初めて知ることばかりで、とても勉強になりました。切り口は教えていただいたイメージとは程遠いモノにはなりましたが、ケガもなく終えてひと安心。少しずつ成長していけたらと思います。』長門さん

次回予告です。8月6日(日)小川Fで、8時から地域貢献活動の水路清掃及び草刈り、部会としては、9時から駐車場・墓地周りの草刈り、ナラ枯れの除伐を行います。



梅雨前線による大雨、山本鹿ヶ谷基地周辺は特に被害はありませんでした。

数年前の大水害による東山本川砂防工事(災害関連緊急事業・砂防堰堤を数ヶ所設置予定)により、隣りの春日野団地からの工事用進入路工事がやっと7月11日から着手されました。(伐採や河川横断道路の建設など)また、基地直近かに堰堤設定計画があ

り、今後進捗状況に応じて駐車場や作業スペースなどの調整が必要になりそうです。スズメバチの巣も発見し、駆除しました。

今月は、ゆうゆう・もりメイトキッズ等で使用する部材作成や基地周辺の除草などを行いました。部会参加者は簡易製材講習会を含め述べ43人でした。



スズメバチの巣(左)と部材の製作